

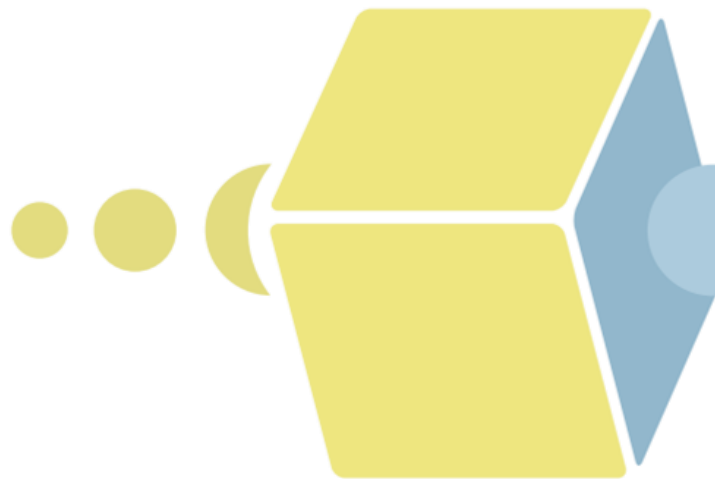
チューリングガム 事業説明会

2023年4月

Turingum株式会社 取締役CTO

株式会社Kushim 取締役CTO

田原 弘貴



Turingumについて

Web3で社会やビジネスに革新性をもたらす会社

- ブロックチェーンの社会実装を行う会社
- お客様の**クイパビリティ**をブロックチェーン技術を用いて**最大限に表現**する
- 海外の模倣ではなく**常に新しいプロダクトを模索**する**クリエイティビティ**

Web3最強集団

メンバーの強さ・経歴

- DeFiなどのFinance × ブロックチェーンの分野につよみ
- 技術にも明るい
- トークン発行・運営について複数プロジェクトでも経験がある
- 法務税務に関する知識もある
- 若い“Web3ネイティブ”と経験豊富なメンバーのバランス

- **トークンの発行売却はうまくいかない**
 - 市況がかなり落ち込んでいる
 - FTXやSVBなど市場は常に不安定
 - 当分は先行きが不透明

- **市況は少しずつ上向き始めている**
 - 肌感としては2019終わり~2020年くらいの感覚
 - 今の「仕込み」が今後5年のビジネスを占っていく

- 日本のWeb3は非常に元気
 - Game FiによってIP産業が活性化
 - 大手ゲーム会社などの参入が相次いでおり活況を呈しつつある
 - バブルに乗り遅れたことが幸いしてポートフォリオが傷ついていない
- 一方でバブルに乗り遅れているので経験が少ない
 - 現在海外で**成功したモデルの模倣**にとどまっている
 - 市場は新しいチャレンジを求めている
 - **経験豊富な人材が不足している**



経験とクリエイティビティが求められている

- 技術とDeFiなどの金融を深く理解しているからこそ表現できるクリエイティビティ
 - 提案力
 - 提案した内容を**実装できる技術力**

- 市場でのトークン・NFT発行の経験や知識
 - 税務・法務などの**知見やパートナー**
 - 上場支援などの戦略

Turingumの ビジネスモデルとその転換

少数のプロジェクト（COT・Skebなど）の支援を集中的に行う

- a. トークンの発行体からのレベニューシェアとアロケーションによる収益
- b. トークンのコンサルティング・開発・運営を行う

- ▶ 当たれば高利益だが**ボラティリティが非常に高い**
- ▶ トークン売却は**市況によって厳しさを増している**
- ▶ **大手IP企業の案件が獲得しにくい**

1. 多くのプロジェクトに関わる

- a. これにより事業ポートフォリオを組めるように
- b. 大型案件を狙いやすく

2. トークンのレベニューシェアだけではなく人月によるコンサルティングや開発も行う

- a. サービスの門戸を広げる

1. トークン発行に関するスキーム支援も行う

- a. 人月での売り上げも立たせる
- b. コアに関わる場合はレベニューシェアやアロケーションでアップサイドを狙う

2. 営業能力の強化、積極的な営業を行う

- a. これまではリーチできなかった大手企業の大型PJを狙えるように

1 市況が厳しい中でも売上のボトムを作れる

人月による売上の確保

2 レベニューシェアによる売上のトップラインを見込める

特に市況が好転した時に売上が狙えるように

3 事業ポートフォリオを組めるようになる

リスクを回避できるように

4 これまでリーチできなかった大手企業にもリーチが可能になる

顧客との長期的なリレーションを組むことで将来の収益可能性にも貢献できる

1 メンバーを増やす必要があり必要なコストが増える

営業力の強化・プロジェクトの管理

2 売り上げが大きく立つまでに時間を要する



ただし市況による評価損益のような不確実性を除けば

単月黒字を達成している現状

Turingumの取り組み

1. 営業メンバーの強化

2. 営業活動の活発化

- a. イベントへの参加・登壇
- b. Web3業界のネットワークを生かしたコンタクト

3. 業界内のプレイヤーとのアライアンス

- a. SBI VC
- b. そのほかにも協議中のものも

4. 質の高いコンサルティング

- a. 非常に高い評価をいただいている

ドバイ・アブダビがWeb3の中心地に

- ・ 規制緩和
- ・ 一方できちんとしたライセンス・法整備が進んでいる
- ・ シンガポールは賭博法改正などで相性が悪くなっている

Turingumメンバーもドバイに一部在住

ドバイWeb3
コミュニティ
との連携

- 日本人コミュニティ
とも連携を進めている

現地弁護士法人
との連携

- Tom Bicknell弁護士
- ローカル弁護士法人

1. 大手ゲーム企業のペインに対処する

- a. トークン発行による法務・ガバナンス・税務的な問題
- b. 自社・日本国内ではパブリッシングが困難

2. 従来はシンガポールでのパブリッシングが主要

- a. 賭博法により困難に

3. ドバイが新たな中心地となっている

4. 現地に居住して現地からサポート可能な体制

5. 著名弁護士とのアライアンスにより法務体制も完備

6. 支援を通してより大きな会社との**案件獲得やレベニューシェア獲得を目指す**

- a. かなり手応えは良い
- b. トークンコンサルティング・開発支援との相性も良い

1. Datachain社との提携

- a. クロスチェーン開発という**難易度の高い領域にも挑んでいく**
- b. 主にDeFi的なコンポーネントでの協業をイメージしている

2. 新規事業などの模索

- a. zkEVMなどについても研究を重ねている
- b. 技術領域だけではなく、zkrollupができることで**ブロックチェーンで表現できる領域が広がる**ことにも着目している
- c. プライバシー領域についても引き続き研究継続

Q&Aセッション

以下に該当する質問は、~~お答えできませんのでご了承ください~~

1. クシム社の株価に関するご質問
2. 未公開の情報に関するご質問
3. 誹謗中傷やそれに類する表現のあるご質問

※お時間等の都合により、全てのご質問には回答できない場合がございます。

予めご了承ください。